

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成26年1月9日(木) (19:00~20:30)		
実施場所	新座コミュニティセンター	参加人数	24人
参加対象	新座地区振興会		
懇談内容	<p>1. 発言者 新雪マラソンについて、ゴール記録のために「電子掲示板」を設置してほしい。</p> <p>市長 各地域の自治組織に対しての特別枠としてあるパワーアップ事業などを活用してもらうのも良いと思う。ご支援としては色々なやり方があると思うので検討したい。</p> <p>2. 発言者</p> <p>①土砂災害の対策として、新座コミュニティセンターは災害時の避難場所になっているが、ここは洪水防災マップ上では土砂災害危険区域になっている。避難場所を移すことは難しいかもしれないが、斜面に対して土砂が来ないように対策をお願いしたい。</p> <p>②原発事故の対策として、市民の人々が正しい知識を持って避難ができるように、洪水防災マップと同じように周知してほしい。</p> <p>市長</p> <p>①県が新しい土砂災害に対するマップ作りをしているところなので、今後各施設においても整理をしていきたい。また、例えば地震時は新座コミュニティセンターに避難し、大雨時などはクロス10に避難するなど、災害によって施設を使い分けるのも方法の1つである。</p> <p>②十日町市では原発から一番近いところで22kmとなっているが、現在、柏崎で事故が起きた場合のシミュレーションを県と30市町村と行っているところである。いざという時に市民の方が冷静に行動できるには、訓練と広報などで学んでいくしかないので進めていきたい。</p> <p>3. 発言者 城山遊歩道を修復しているが、上の方に大きなブナの木や水芭蕉がある。まだ、整備が終わってないが、今後ハイキング事業のような企画をして外からお客を呼びたい。そこで、市から宣伝やアピールをしてほしい。</p>		

市長

地域自治組織のパワーアップ事業として検討していただきたい。市として情報の発信という部分で協力できることは検討し協力したい。

4. 発言者

- ①雪まつりについて、市外から来るお客は市内でなく、六日町や湯沢に宿泊する人が多く、市内にお金が落ちていない気がする。例えば、市から助成をして家庭民宿のような各家庭に泊まってもらうようなことができないか。また、市内にイルミネーションなどを活用して盛り上げてほしい。
- ②文化ホールについて、県内でどこにも負けない文化ホールを作ってもらいたい。ただ市民が使って喜ぶだけでなく、市外からお客が来て市内にお金を落とすような施設にしてほしい。

市長

- ①合併してからは、雲海や松之山に宿泊する人も増えていると思う。雪まつりに限らず、中山間地域の活性化策として農家民宿のようなものも大事だが、市が行うのではなく誰かが手を挙げてもらうと市としても何かしらの助成ができると思う。また、廃校の小学校などをうまく利用して誰かがやりたいと手を挙げてもらうとありがたい。
- ②大地の芸術祭の里ということも意識して十日町市らしい他にないものを作っていきたい。現在、ちょうど提言を受けているところであるので、今年度中に決めていきたい。

5. 発言者

高齢者スポーツについて、市が企画している軽スポーツクラブには、助成制度があるが、自主的なサークルに対してのサポートがない。学生に施設減免制度があるのなら、高齢者や自主的なサークルにも減免制度を作してほしい。

市長

健康寿命を伸ばすためにスポーツはとても大事である。健康な人は、介護保険のお世話にならないともいうので、今後検討したい。